

**2022 年度中四国学生ヨット選手権大会**  
**兼 全日本学生ヨット個人選手権大会中国水域予選**

大会期日 2022 年 7 月 9 日（土）～10 日（日）

開催地 岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓ヨットハーバー

共同主催 中国学生ヨット連盟 NPO 法人岡山県セーリング連盟

後援 岡山県牛窓ヨットハーバー

協力 牛窓町漁業協同組合

競技種目 国際 470 級、国際スナイプ級

大会運営 岡山大学体育会ヨット部

### 帆走指示書

#### 1. 規則

- 1.1. 本大会は、『セーリング競技規則 2021-2024』（以下 **RRS** とする）に定義された規則を適用する。
- 1.2. 『全日本学生ヨット連盟規約』、『470 級学連申し合わせ事項』、『スナイプ級学連申し合わせ事項』、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』、『中国学生ヨット連盟申し合わせ事項』を適用する。
- 1.3. **RRS41** に以下を追加する。  
『(e) 同一レースでの自チームの他艇からの援助。』
- 1.4. **RRS 62.1** に次の文を追加する。『ただし、同じ大学の艇または同じ大学の支援艇・応援艇から受けた損傷または傷害に基づいて救済を要求することはできない。』これは、**RRS 60.1(b)**を変更している。
- 1.5. レース公示と帆走指示書が矛盾する場合、帆走指示書を優先する。
- 1.6. **RRS 42** の違反に対しては、**RRS 付則 P** を適用する。**RRS 付則 P** を次の通り変更する。  
付則 **P** の文中の「セール番号」は、「セール番号またはエントリーナンバー」と置き換える。
- 1.7. **RRS 付則 T** を適用する。「レース後ペナルティー」を履行した艇は得点略語「**PRP**」を用いて記録される。これは **RRS A10** を変更している。
- 1.8. **【NP】** はこの規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは **RRS 60.1(a)**を変更している。

#### 2. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の各クラスの予告信号の 60 分前までに、公式掲示板に掲示される。ただし、レース日程の変更はそれが発効する前日の 18 時まで  
に掲示される。

### 3. 選手とのコミュニケーション

- 3.1 競技者への通告は、大会 LINE オープンチャットで行い、大会 LINE オープンチャット及びそのリンク先ホームページを公式掲示板とする。
- 3.2 レース委員会は研修棟に位置する。
- 3.3 **【DP】** 最初の予告信号からその日の最終レースまで、緊急の場合を除き、艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータを受信してはならない。

### 4. **【DP】** 行動規範

競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

### 5. 陸上で発する信号

- 5.1 陸上で発する信号は、研修棟に設置された信号柱に掲揚される。
- 5.2 クラス旗が音響信号 1 声とともに掲揚された場合、書面での「出艇申告受付を開始する」ことを意味する。
- 5.3 **【DP】【NP】** 音響信号 1 声とともに掲揚される D 旗は、「艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーから離れないようにしなければならない」ことを意味する。予告信号は、D 旗掲揚後 20 分以降に発する。また、クラス旗の上に D 旗が掲揚された場合は、そのクラスのみに適用される。

### 6. レースの日程

- 6.1. レース日程は以下の通りとする。

日付	国際 470 級	国際スナイプ級	その日の最初の予告信号
7 月 9 日 (土)	レース日	レース日	10 : 30
7 月 10 日 (日)	レース日	レース日	9 : 45

- 6.2. 本大会は各クラス 8 レースを予定し、1 日に行うレース数は各クラス最大 5 レースとする。
- 6.3. 引き続き行われるレースの予告信号は、前のレースが終了した後、任意の時刻に発せられる。
- 6.4. 大会最終日は 13:00 以降に予告信号が発せられることはない。
- 6.5. 天候・その他の事情によりレース日程はレース委員会において変更されることがある。
- 6.6. それぞれの日に選手・監督・レース委員会・プロテスト委員会によるブリーフィングを行う。(場内アナウンスを使用して集合せずに実施する。)

※質問は LINE のオープンチャットでブリーフィングが始まるまでに行うこと。

## 7. クラス旗

7.1. クラス旗は、以下のとおりとする。

種目	クラス旗
国際 470 級	470 級の記章を記した白色旗
国際スナイプ級	F 旗

## 8. レース・エリア

レース・エリアは、別添図 3 のとおり。

## 9. コース

- 9.1. 別添図 1 に、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 9.2. スタートから第 1 マークへのおおよそのコンパス方位と各クラスのコースを、予告信号以前にレース委員会の信号艇から示される。

## 10. マーク

- 10.1. マーク 1, 2, 2S, 2P, 3, 3P, 3S, 4S, 4P は、黄色の円筒形ブイとする。
- 10.2. スタート・マークは、スタート・ラインのスターボードの端にあるスタート本部船とポートの端にある黄色の棒状ブイである。
- 10.3. フィニッシュ・マークは、フィニッシュ・ラインのスターボードの端にあるフィニッシュ船とポートの端にある黄色の棒状ブイとする。
- 10.4. SI12 に従い、次のマークの位置の変更により新しいマークが用いられる場合には、オレンジ色の三角錐型ブイを使用する。その後、再び新しいマークに置き換える場合は、元のマークを使用する。

## 11. スタート

- 11.1. スタートは RRS 26 に基づいて行う。
- 11.2. スタート・ラインは、スターボードの端にある本部船上のオレンジ色旗を掲げた紅白ポールとポートの端の黄色の棒状ブイのコース側の間とする。
- 11.3. 【DP】 予告信号が未だ発せられていない艇は、スタート・ラインからおおむね 50m 以内の範囲およびコース・サイドから離れ、すでに予告信号が発せられたクラスの艇を避けなければならない。
- 11.4. スタート信号の 4 分以降にスタートする艇は DNS と記録される。これは RRS A5.1 と A5.2 を変更している。
- 11.5. RRS 30.4 「黒色旗規則」が適用されたレースにおいて、ゼネラル・リコール信号が発せられた場合またはレースがスタートした後中止となった場合には、黒色旗規則に

違反した艇のエントリーナンバーをレース委員会の信号艇の後部に掲示する。これは、RRS 30.4 を変更している。

## 1 2. コースの次のレグの変更

- 12.1. コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し（またはフィニッシュ・ラインを移動し）、実行できればすぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

## 1 3. フィニッシュ

- 13.1. フィニッシュ・ラインは、スターボートの端にあるフィニッシュ船上の青色旗を掲げたポールとポートの端の黄色の棒状ブイのコース側の間とする。

## 1 4. タイム・リミットとターゲット・タイム

- 14.1. タイム・リミットとターゲット・タイムは以下のとおりとする。

マーク 1 のタイム・リミット	レース・タイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
20 分	50 分	15 分	40 分

- 14.2. マーク 1 タイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合、レースは中止される。

- 14.3. フィニッシュ・ウィンドウは、RRS 30.3 および RRS 30.4 に違反せずにスタートし、コースの帆走した最初の艇がフィニッシュした後、艇がフィニッシュするまでの時間である。フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュできず、かつ、その後リタイアをせず、ペナルティーを課されず、または救済を与えられなかった艇は審問なしに「フィニッシュしなかった (DNF)」と記録される。これは RRS35、および RRS A5.1、A5.2 を変更している。

- 14.4. ターゲット・タイムどおりにならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。

## 1 5. 審問要求

- 15.1. それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻は、そのクラスのその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースは行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分とする。時刻は公式掲示板に掲示される。
- 15.2. 抗議及び救済又は審問再開の要求は、適切な締め切り時間内に WEB フォームにて提出されなければならない。WEB フォームの URL は大会 LINE オープンチャットにて通知される。ただし、WEB フォームにて提出することが困難な場合には、プロテスト

委員会事務局に持参して提出することができる。審問要求の様式は、研修棟前にあるレース委員会事務局で入手できる。

- 15.3. プロテスト委員会は、ほぼ受付順に審問を行う。審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻 30 分以内に通知が公式掲示板に掲示される。
- 15.4. RRS 付則 P に基づき RRS 42 に違反するペナルティーを課された艇のリストは掲示される。
- 15.5. レース・エリアで関与したか、または目撃したインシデントに関して抗議しようとする艇は、そのレースをフィニッシュした後、直ちにフィニッシュ・ライン付近に位置するレース委員会艇かスタート本部船に抗議の意思を伝えなければならない。これは RRS 61 を変更している。
- 15.6. RRS 66 に基づく審問の再開は、判決を通告された日の翌日の 9 時 10 分までの間に限り求めることができる。ただし、7 月 10 日に判決を通告された場合には判決を通告されてから 15 分以内とする。これは RRS 66 を変更するものである。
- 15.7. RRS50.1(b)及びクラス規則の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量により、失格より軽減することができる。
- 15.8. 7 月 10 日では、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 15 分以内でなければならない。これは RRS 62.2 を変更している。

## 16. 得点

- 16.1. 本大会は、1 レースの完了をもって成立する。
- 16.2. 艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- 16.3. 各クラスとも 4 レース未満しか完了しなかった場合、全てのレースの得点の合計とする。4 レース以上完了した場合、全てのレースの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 16.4. 団体戦のタイは、RRSA8 を適用する。ただし、RRSA8 記載の『艇』を『チーム』と読み替えた上で適用する。
- 16.5. 団体総合の順位は、両クラスとも団体戦に参加した大学のうち、両クラスの合計得点が少ない大学を上位とする。得点がタイとなった場合には、その大学は同順位とし、その次の順位を欠位とする。
- 16.6. 掲示されたレースまたはシリーズの結果について誤りがあると思われる場合、艇はレース委員会へ書面にて結果の照会をすることができる。
- 16.7. 各クラス団体戦における各チームの得点は、団体戦登録をしている 3 艇の**全てのレース**の合計得点とする。

## 17. 安全規定

- 17.1. 出艇申告をする際に通信機器の不具合または紛失により LINE 投票が出来ない場合は書面にて行うこと。書面での出艇申告は、SI 5.2 のクラス旗掲揚後 30 分間受け付ける。帰着後、その日に再出艇する場合も同様とする。参加登録した艇で当日出艇しない艇の艇長またはその代理人は、出艇申告受付時間にリタイア報告書を出艇・帰着申告受付所に提出しなければならない。
- 17.2. 【NP】 レースに参加しようとする競技者及び支援艇は、その日最初のレース予定予告信号の 120 分前から D 旗掲揚後 10 分後までに大会 LINE 投票「出艇申告」から該当項目を選択し投票しなければならない。また、レースに参加（出艇）しない艇及び支援艇は、同じ時刻までに大会 LINE 投票「出艇申告」から DNC（リタイア申告）を選択し投票しなければならない。
- 17.3. 【NP】 帰着した艇の艇長及び支援艇は、帰着後速やか（出来るだけ早い機会）にまた、その日の最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分以内に 大会 LINE 投票の「着艇申告」から該当項目を選択し投票しなければならない。
- 17.4. 出艇申告及び帰着申告に不備があったレース艇には、RRS 63.1 と RRS A5 を変更し、審問なしにペナルティーが科せられる。ペナルティーは出艇申告及び帰着申告それぞれ直近の 1 レースに対して科せられ PTP として記録し、「順位+当該種目参加艇数×10%（小数点以下四捨五入）点」または「当該種目参加艇数+1 点」のいずれか小さい方の得点を与える。これは RRS A9 に変更である。
- 17.5. 【DP】 リタイアしようとする艇は、速やかにレース・エリアを離れ、リタイアの意思を近くのレース委員会艇に伝えなければならない。艇長（レース委員会が正当な理由があると認めた場合は、その代理人）は、SI 17.3 の帰着申告を行ったうえ大会 LINE 投票「RET」からリタイアしたレースを選択し投票しなければならない。やむを得ずレース委員会艇にその旨を伝えることができなかった場合は、リタイア報告書にその理由を記入すること。
- 17.6. 【NP】 SI 17.5.に基づきリタイアした艇がその後レースに参加するため出艇する場合および海上でリタイアし帰着した艇が再度出艇する場合、大会 LINE 投票「再出艇申告」から該当項目を選択し投票しなければならない。また、海上でレース委員会艇にレース参加の意思を伝えなければならない。
- 17.7. 【DP】 本大会に参加する全ての競技艇は、主催者が用意するエントリーナンバーを別添図 2 のようにメイン・セイルのピーク部に貼付しなければならない。エントリーナンバーの貼付場所は、できる限りピーク部に近い高い位置で、スターボードサイドをポートサイドより重ならない高い位置に取り付けなければならない。
- 17.8. 【DP】 レース艇はクラス規則に定められたバウラインを搭載しなければならない。
- 17.9. 【DP】 競技者は、海上においては適正な浮力を有するライフジャケットを着用し

なければならない。

- 17.10.** レース委員会またはプロテスト委員会は、危険な状態にあると判断した艇に対してリタイアを勧告または強制救助を行うことができる。これは艇による救助の根拠とならない、これは RRS 62.1 を変更している。

## **18. 【DP】乗員の交代と装備の交換**

- 18.1.** すべての参加大学は、7月9日の出艇前に第1レースの乗員を大会 LINE を通してレース委員会へ報告しなければならない。艇の識別にはエントリーナンバーを用い、各艇の乗員と艇長が明確であること。
- 18.2.** その日の以降のレースにおいて乗員が交替する場合は、その都度、大会 LINE を通してレース委員会へ報告しなければならない。海上で乗員の交替をした場合は、帰着次第、大会 LINE を通してレース委員会へ報告しなければならない。
- 18.3.** 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしには許可されない。交換要請は、最初の適当な機会にレース委員会へ行わなければならない。
- 18.4.** 予備艇の使用は、艇の破損による場合のみとし、事前にレース委員会の承認を得なければならない。
- 18.5.** 予備セールの使用は、セールの紛失または補修ができないほどの損傷があった場合のみとし、事前にレース委員会の承認を得なければならない。なお、海上においてメイン・セールの交換が認められた場合、その日のその後のレースに限り、エントリーナンバーの貼付は免除される。

## **19. 【DP】【NP】装備と計測のチェック**

艇または装備は、クラス規則、学連申し合わせ事項、公示及び指示に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。また、各レース日の終了後、レース委員会が上位の艇を任意に計測することがある。

## **20. 運営船**

レース委員会艇およびプロテスト委員会艇は、任務識別ボードを掲げる。

## **21. 【DP】支援艇**

- 21.1.** 支援艇は、レース艇、レース委員会艇およびプロテスト委員会艇の妨げにならないこと。また、各クラスの予告信号からレース終了までの間、各マークを結んでできる多角形の各辺から外側に約 50m 隔てた平行線で囲まれるエリア内に進入してはならない。さらに、全てのレース中の艇から約 50m 以上の距離を隔てて航行しなければならない。
- 21.2.** 各チームの支援艇は、事前にレース委員会へ登録しなければならない。支援艇はレ

レース委員会事務局が支給するピンク色のリボンを掲揚しなければならない。

## 22. ごみの処分

ごみは、大会運営船または支援者船に渡してもよい。

## 23. 賞

賞を次の通り与える。

### 団体の部

	国際470級	国際スナイプ級
第1位	トロフィー、賞状	トロフィー、賞状
第2位	賞状	賞状
第3位	賞状	賞状

### 個人の部

	国際470級	国際スナイプ級
第1位	トロフィー、賞状	トロフィー、賞状
第2位	賞状	賞状
第3位	賞状	賞状

※ただし、スキッパーが交代した艇は賞の対象から除外する。

この他にレース公示に記載通り、全日本学生ヨット個人選手権大会の中国水域代表出場権を与える。

## 24. リスク・ステートメント

RRS3には『レースに参加するか、またはレースを続けるについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。このことに伴い、主催団体は、大会前、大会中または大会後と関連して受けた物的損傷、個人の負傷、新型コロナ感染もしくは死亡に対する責任を否認する。

## 25. 【DP】 保険

各参加艇は、有効な第三者賠償責任保険に加入しなければならない。

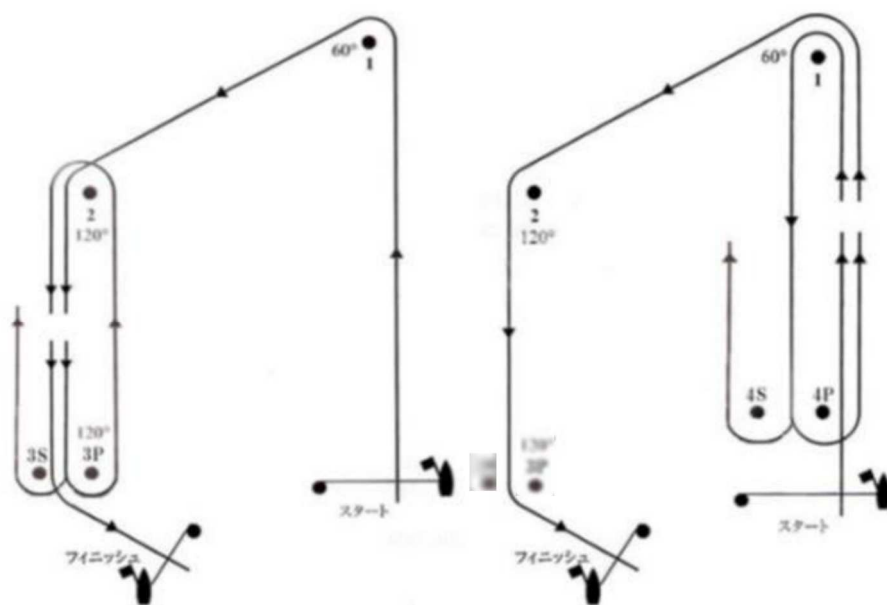


添付図 1 (コース図)

トラペゾイド

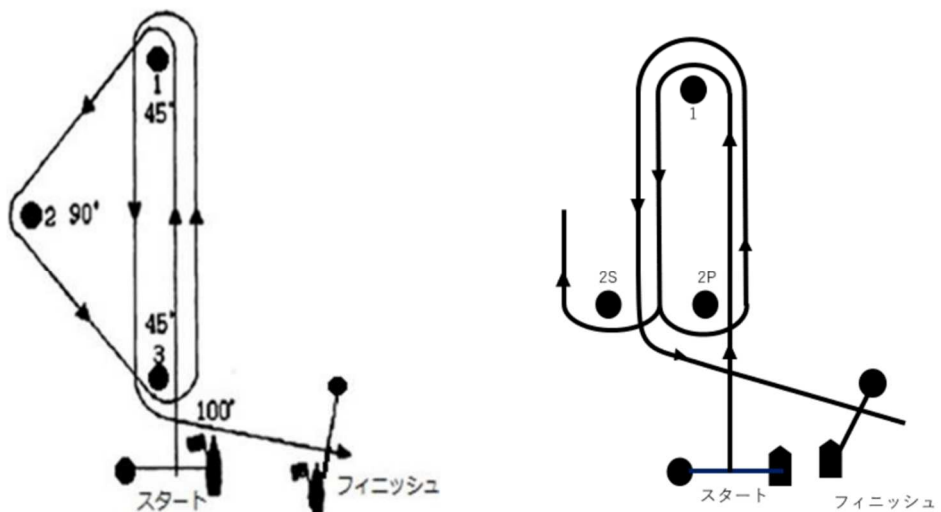
左：アウトーループ (コース 1) Start→1→2→3S or 3P→2→3P→Finish

右：インナーループ (コース 2) Start→1→4S or 4P→1→2→3P→Finish



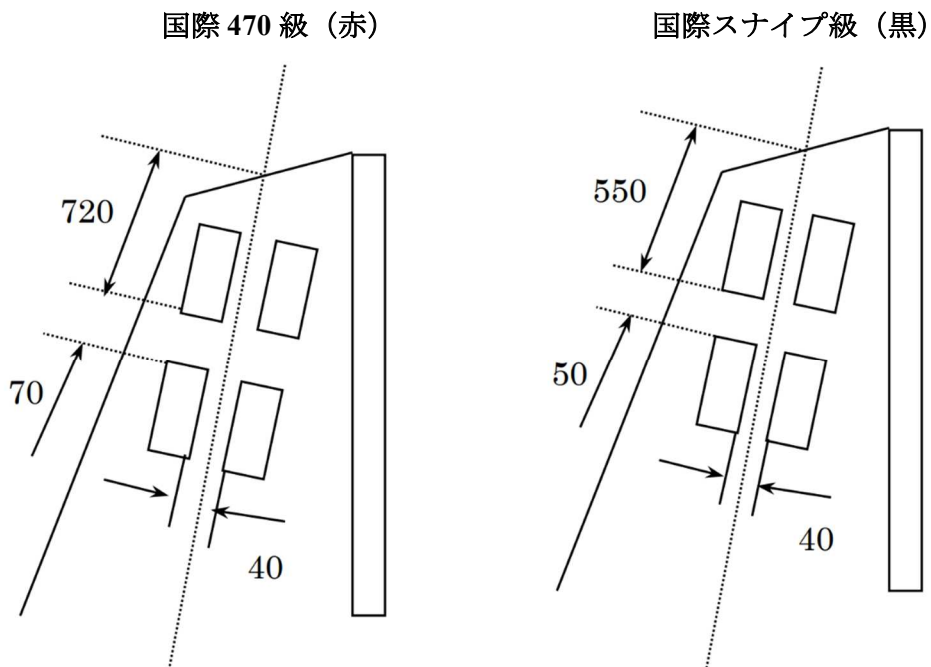
左：トライアングル・コース (コース 3) Start→1→2→3→1→3→Finish

右：ソーセージ・コース (コース 4) Start→1→2S or 2P→1→2P→Finish



添付図 2 (エントリーナンバー貼り付け図)

スターボート側が上



エントリーナンバー1~9はセンターラインの中央部に貼ること

添付図 3 (レース海面)

